

さくら通信

平成20年3月9日

No. 10

発行者：下関深坂さくら友の会 下関市横野町 1-13-1

TEL:083-258-3277 FAX:083-258-3234

E - メール: hibiki-lc@gold.ocn.jp

HP: http://www.h2.dion.ne.jp/~yasuokac/sakura/



列横隊、前に習え」と号令がかかりました。事務局長の女性が、いつも弁当の数の把握が出来ないとこぼしていたのを聞いた副会長が、一役買って出たわけです。この日は弁当の数、安心できたようです。



1月定例会

1月13日(日)午前9時、今年最初の定例会が行われました。参加者58名は定例会の最多記録だ。

さくら友の会制帽

この度、制帽が出来た。会員に1ヶ500円で販売中です。これは林の中に居ても目立つからとてもいい。皆、大いに気に入っている。

天狗巣病対策

この日の作業は天狗巣病対策が主でした。梯子や高枝挟みが武器です。

最初は「この枝は？」、「この辺りから？」などと幾分恐る恐るの気配も無きにしも非ずだったが、しばらくするとバッサバッサ。

天狗巣病の枝

中にはここまで、発達した枝もある。これらについては、友の会の植樹した木ではなく、下関市の管理対象が多いので、処置を要望している。

2月10日維持管理部会

この日は、植樹後、枯死したり、折れたりした桜の代替植樹を50本しました。

突然、「全員集合、4

会員交流部会と各部会長及び執行部で実行委員会を立ち上げ、計画を推進しています。4月6日(日)が実施日で、ウォーキングが中心になりそうです。

投稿

わたしの草刈奮闘記

今年は、例年になく寒い日が多いような気がします。しかし、暦の上ではもう3月、春はすぐ近くまで来ているような感じが致します。心待ちしている桜の蕾もこころなしか大きく膨らんできたようで、なんだか、うきうきと嬉しいです。

さて、昨年、わたしは「深坂さくら友の会」の草刈部隊に編入させて頂きました。

それと言うのも、日頃は綾羅木川や伊倉川の堤防の草刈を「川中を走ろう会」の仲間のみなさんともう10数年やってきたので、正直なところ草刈部隊が一番楽でチョロイ仕事だと考えたからです。

ところがどっこいそうは間屋が卸さない。わたしの考えが甘かった。

深坂の草刈はやねこい

真夏のあの灼熱の太陽がじりじりと照りつけるなか、斜面に足を踏ん張り元気盛りの草を思い切り力を入れて振り払う、やっと切れたと思いつかや何のことではない、葛がシッカリ支えている。今度は草刈機の刃を自分の目線よりも高く振り上げて、力一杯何度も振りおろす。「こなくそ～」負けてなるもんか、もうこうなったら格闘である。しばらくして後ろを振り返って見る。作業が少しづつ進んでいる。なんともいえない嬉しさがある。ホッとして油断をすると落とし穴、、。山芋を掘った穴に片足を突っ込む「アツ」高速回転の草刈機を抱えて、ひっくり返り冷や汗をかく、もう全身汗でびっしょり。向こう側から仲間の草刈機のエンジン音が聞こえてくる。嬉しい。もう一踏ん張りだ。最後の力を振り絞って頑張る。

やっと草刈のノルマを果たし終えて、少し高い所から眺めて見る。なんとすがすがしい。散髪に行った気分になる。桜の木も何だか嬉しそうに「ありがとう」とお礼を言っているように見える。お昼に配られるおにぎりの「何とないこと」。これに懲りずに、また、今年も頑張ります。(維持管理部会 松原守)

「下関深坂さくら友の会」に入会をご希望の方は事務局にお電話ください。

投稿募集

桜や、深坂の森、さくら友の会に関する皆様のご意見、想いなどをお寄せ下さい。(400~600字)

ホームページの写真募集

会員の桜、ネームプレートの写真やコメントを募集しています。それらは順次、さくら友の会のホームページに載せていきます。写真はデジカメで撮り、メール添付で応募下さい。

予定

深坂さくらえ(友の会さくらまつり)

4月6(日)9時

深坂自然の森、森の家に集合